



「親の思いと子の思い」

親は、だれしも子供の幸せを願って様々な習い事をさせたり、指示をしたり、叱ったり、褒めたりします。しかし、子供にとってはそれが苦痛になっている場合があります。「毒親」（子供の人生を支配し、子どもに害悪を及ぼす親）という言葉は、そのような状況から生まれました。「子供のため」と思っていることが、子供にとっては負担になっていることがある、ということです。他には、「優しい虐待」「教育虐待」という言葉も使われています。

合同会社 serendipity が2022年に全国の25歳以上60歳未満の父母対象に実施した調査によれば、「もしかして、自分は子供にとって『毒親』なのかもしれないと思ったことはあるか。」との質問に対し、母親では「たまにある」の回答が30.5%（全体：23.5%、父親：16.5%）また、「よくある」の回答も僅かながらありました。（全体：4.0%、父親：3.3%、母親：4.8%）



毒親とは、アメリカの専門家が提唱した概念です。過干渉や暴言・暴力などによって子供に重圧を与えたり、親の都合を優先し、子供を構わなかったりする親のことだとしています。

「しつけ」と称して体罰を加えたり、子供にとって心理的な苦痛を与えたりする場合も、虐待になります。東京都の方針で、毎年5年生の子供たちと全員面接を行っています。「習い事が多すぎて自由な時間がない」と嘆いている子供が複数いました。『やめたい』と言っても聞いてもらえない』『あなたの将来のためだから』と言われると、逆らえない」などの話が出てきます。

お子さんの気持ちをしっかりと聞いてあげていらっしゃいますか？ 一度、お子さんへの接し方が「毒親」「優しい虐待」「教育虐待」になっていないか見直してみませんか？

お子さんとの関わり方について詳しくお知りになりたい方は、スクールカウンセラーにご相談ください。

教育相談の申し込み方法

直接またはお電話で、副校長・担任・養護教諭・スクールカウンセラーにお申込みください。
関町北小学校 電話：03-3920-1027

左のQRコードからでも申し込みます。

相談枠：①9:35 ②10:40 ③11:30 ④13:40 ⑤14:30 ⑥15:30 ⑦16:30

1回45分が基本です。枠外は、ご相談ください。勤務時間：9:30～18:00

2月・3月の出勤予定日

2月19日(水)、27日(木) 3月7日(金)、14日(金) 本年度最終日

